

JR東日本の将来を見据え、若い世代のために  
組合員・社会から信頼される労働組合をめざし  
全職場から労働組合を強化・拡大しよう！

2020年11月18日発行

発行責任者 荻原 明禎

編集者 情 宣 部

## 年末手当満額回答を勝ち取ろう！

# 第2回職場集会開催！



11月16日、佐久平交流センターにおいて、第2回目の職場集会を開催しました。前回同様に組合員の皆さんと意見交換を行う中で、様々な想いが出されました。

【組合員からの意見】

- ・ 役員報酬が2割カットに対して、我々は3割カット。割に合わない。
- ・ コストダウンできる事はせず、賃金カットを行っている。  
(例えば、社内誌をタブレットで閲覧し、希望者以外は配布しない。遠距離通勤をさせ、通勤手当を支給している。現地現職が最良。)
- ・ 昨年と比べ約1ヵ月分下がったのに業務量は変わらない。
- ・ 業績の悪い会社と比較し、「出るだけ良い！」という風潮に。
- ・ 収入は右肩上がり推移してきたが、賞与は全然上がらなかった。減収になった途端、急激に下げるのは納得できない。
- ・ カフェテリアポイントを使う社員が減っている分、会社の支出は減っている。ポイント付与を一旦中止し、社員に現金で還元すべき。  
・・・などなど。



本部は、11月16日付で「年末手当に追加支給を求める申し入れ」を提出し、要求の差額である「0.8ヵ月分」を求め取り組むことを決定しました。

**追加支給を求め、職場から行動しよう！**